

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援アンデルセンnorth
------	-------------------

公表日 令和8年1月8日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	一人ひとりが安心、落ち着けるスペースづくりをしている	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・急なことに対応できる配置数である ・利用定員に合わせた職員配置ができている	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	視覚的にも子どもに分かりやすい生活空間となっている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・毎日清掃を行い清潔を保ち、換気もこまめに行っている	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	一人ひとりに合わせ、個室を使用したり、パーテーションを使用し集中しやすい落ち着ける環境を作っている	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・ミーティングを定期的に行い、一人ひとりの情報共有や振り返りを行っている ・ミーティング時に気づいたことなど情報共有し、業務改善に努めている	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		年に1回保護者の方にアンケートをしていただき、保護者の方からの意見を職員間で共有しながら業務改善につなげている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・朝礼やミーティングの中で意見を出し合い、その都度話し合いながら業務改善を行っている	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	現在実施していません	今後実施について検討予定です
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	園内研修や外部研修、またzoom研修などに参加でき、研修内容も報告書とともに、ミーティング時に報告があり全職員に情報共有でき質の向上につながっている	
適切な支援の一環	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	利用児に合わせた個別支援計画が作成され、保護者、相談支援事業所に公表されている	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	契約時、モニタリング時、個別相談時など利用児の様子や家庭、保育園での様子などを保護者の方にお聞きし、また利用児にもやりたいこと等聞きながら個別支援計画を作成している	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	支援会議を行い、利用児についての情報や意見を出し合い共通理解をしたうえで、どのような支援が必要か話し合い検討し個別支援計画を作成している	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・いつでも個別支援計画を見ることが出来るよう、利用児の個別記録のファイルに挟んでいる ・個別支援計画はミーティング時等で情報共有し、参加できていない職員に対しても回覧している	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・日々の利用児の観察や職員間の情報共有により利用児の行動状況を把握、確認し支援を行っている ・認知・言語促進プログラムにより、利用児の発達段階が確認できるようになった	
地域支援	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・ガイドラインに沿った支援項目を設定しており、各項目で利用児に合わせた支援内容が設定されている	地域支援については今後の課題です

提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	職員間で話し合い、意見を取り入れながら作成している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・楽しく活動できるように、新しい教材を取り入れたり、内容を工夫しています ・同じ内容にならないように以前にした記録等をみながら支援を行っている	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	主には個別療育ですが、必要に応じて小集団での活動を取り入れている 集団活動の中で見つかった課題を、個別療育の中に取り入れ支援につなげている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	朝礼を行い、その日の療育、送迎等の打ち合わせや前日の利用児の様子など情報交換や振り返りをし連携し支援を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	その都度、療育時の様子や今回達成できたこと、難しかったことなど伝えあい、情報共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	毎回個別経過記録に記入し、気になることは職員間で話し合い改善につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	6ヶ月に1度モニタリングを行い、保護者の意見も聞きながら見直しを行っている	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達支援管理責任者などが参加している	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	・すぐに連絡が取れる体制は整えている ・かかりつけ医は決まっている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・必要に応じて保育園等の送迎時に情報共有をしたり、相互理解が図れるように努めている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	希望される方は、引継ぎシートにて支援内容の情報をお伝えしている	今後必要に応じて相互理解を図っていきたい
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		3	現在していません	必要に応じて連絡を取り、助言等お願いしたいと思う
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		8	現在していません	今後の課題として考えていきたい
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	お帳面や送迎時、又モニタリング、個別相談等で利用児の様子を伝えあいながら共通理解が図れるようになっている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	・家庭での支援方法について提案させていただきたい ・保護者様からの質問に回答したり等しています ・研修案内等届いた場合は、研修の案内を配布しています	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に丁寧に説明するようにしている	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	契約時、モニタリング時等で保護者の方の意向や、利用児にはやりたいことなど聞き確認する機会を設けています	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	個別支援計画書を示しながら、目標、支援内容等説明し、同意をいただいている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	お帳面でのやり取りや個別相談等でその都度助言させていただいている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8	現在父母の会は開催していません	今後の課題として検討していきたいです
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	相談の申し入れがあった場合、速やかに日程調整を行い迅速に対応しています	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	現在通信は行っていませんが、LINEで月1～2回利用児の活動の様子の写真を送信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・個人情報については、鍵付きのロッカーに保管し管理している ・個人情報保護について職員に周知している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・一人ひとりに合わせて伝え方を考え、必要に応じて視覚からの伝達等工夫している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8	現在できていません	地域との関わりについては今後の課題です
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・マニュアルを作成し、研修、訓練を行っている ・マニュアルは、保護者にも見えるように玄関に掲示している	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・業務継続計画（BCP）を作成し研修、訓練を行うとともに、災害の備蓄品の点検や補充等行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	契約時や、モニタリング時等に利用児の状況をお聞きし服薬やかかりつけ医等確認し支援をしている	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・食事提供利用児がいません	・今後対応が必要な利用児がいた場合は、医師の指示書を持ってきていただき対応していきたい
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・安全計画を作成し、研修、訓練を行い職員間で共通認識を持ち安全に配慮している ・安全には十分配慮している	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・安全対策については、契約時に説明している ・安全計画は、玄関に掲示している	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・ヒヤリハットは全職員で周知し、ミーティング時等に対策を話し合い、再発防止に取り組んでいる	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・虐待防止の研修を行い、職員が自覚が持てるよう意識向上につながっている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・身体拘束の研修を行っている ・契約時、モニタリング時に説明を行い同意をいただいている ・個別支援計画にも記載している	